

講義コード	25468030
担当者	藤原 憲二 教授
研究題目	経済数学とその応用

内容：経済数学とその応用としての経済理論を学ぶ。経済学の理解に数学は非常に有効であり学生の中には数学が好きな人もいるが、学部の授業で数学を多用するのは難しいのが実情である。また今年は「経済学のための数学ツール」が不開講で、数学的なことを学びたい人のニーズを満たす授業がない。以上に鑑みて今年の題目を上のようにした。なお永田・田中（2012）はマクロ経済学の応用例が少ないので、三野（2013）を併読しミクロ・マクロ両理論をしっかり学ぶ。そして学んだ経済数学と経済理論を使い3年生のインゼミ大会と4年生の卒業論文では理論分析の研究を発表する。

教科書：永田良・田中久稔（2012年）『経済数学』（培風館）、2940円
三野和雄（2013年）『マクロ経済学』（培風館）、3465円

予備知識：高校数学Iレベルの式の移項・展開と1・2次方程式の解法および「経済と経済学の基礎A・B」レベルのミクロ・マクロ経済学。

選考方法：志望理由書と希望者が多い場合は面接を行う。志望理由書には高校数学Iを範囲とする問題が付いており、必ず解答すること。解答のない志望理由書は無効とする。

希望者へ：数学が得意かどうかは問わないが、数学に挑戦する強い意欲のある人を求める。毎回バラバラに学生を当て大量の計算を行うため、予復習は単位修得の必要条件（十分条件ではない）である。クラブ、サークルなどを理由に予復習を怠る人は即刻やめてもらう。

また去年藤原の「経済と経済学の基礎B」を受けて藤原の人柄を気に入った、残ったゼミの中では一番マシそうだ、とにかくゼミに入って出席だけすれば講義よりも楽に単位が取れるだろうといった理由でこのゼミを選ぶと必ず後悔する。2年生と3年生春学期の最終授業時に期末試験を行い、合格点に達しないと単位を与えない。

受け入れ条件		問題の解答を付けた志望理由書、（希望者多数の場合は）面接出席
担当者のプロフィール	専攻	国際貿易論
	現在の研究テーマ	国際貿易・貿易政策の厚生経済学的分析
	所属学会	日本経済学会 Canadian Economics Association International Economics and Finance Society (IEFS) Japan